2024 年度 日本消費者政策学会 年次大会スケジュール

日 時:2024年9月22日(日)13:35~

場 所:遠隔方式 (zoom 形式)

テーマ:「消費者政策をめぐる法と制度のパラダイムシフト」

【スケジュール】

- 理事会と会員総会は別日にメールで実施いたします。
- ■13:35~15:35 基調講演とディスカッション
 - 1. 企画の趣旨 鹿野菜穂子 (慶應義塾大学教授)
 - 2. 基調講演① **黒木理恵(消費者庁審議官)** テーマ「なぜ今パラダイムシフトなのか--議論の背景と経緯」
 - 基調講演② 沖野眞已(東京大学教授)
 デーマ「パラダイムシフトとは何か
 ―専門調査会の中間とりまとめについて―」
 - 4. 基調講演③ **鹿野菜穂子(慶應義塾大学教授**) テーマ「パラダイムシフト論議の今後への期待――政策への接合」
 - 5. 基調講演①②③を受けての問題提起 飛田史和(昭和女子大学特任教授)
 - 6. 質疑応答
 - ■15:35~15:45 <休 憩>
- ■15:45~16:45 **研究発表・活動報告** *詳細は、次頁参照願います。

研究発表・活動報告 スケジュール

■ A 会場 (司会:三木田 尚美) **発表:15分 質疑:5分**

*時間の都合上、各発表後、質疑に入ります (コメンテーターのコメントなし)。

1	15:45-	<研究発表>
	16:05	伊藤 直子 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員
		テーマ『個人情報保護法における第三者提供の制限と共同利用等に
		関する一考察 -情報保護と利用の狭間をついて濫用が
		懸念される問題等について-』
2	16:05-	<研究発表>
	16:25	平林 有里子 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員
		テーマ『ジェンダー視点からみるマルチ取引被害に関する一考察
		- 契約者家族へのインタビュー調査事例をもとに - 』
3	16:25-	<研究発表>
	16:45	加渡 いづみ 四国大学 短期大学部 教授
		テーマ『非認知能力の向上が消費者力形成に及ぼす影響についての考察』

■B 会場 (司会:太細 譲士) **発表:15分 質疑:5分**

*時間の都合上、各発表後、質疑に入ります (コメンテーターのコメントなし)。

1	15:45-	<研究発表>
	16:05	佐藤 雄一郎 公益社団法人消費者関連専門家会議 (ACAP)
		テーマ『消費者志向経営に関する取り組み状況とその効果』
2	16:05-	<研究発表>
	16:25	長島 聖子 昭和女子大学現代ビジネス研究所 研究員
		テーマ『「親子ワーケーション」の発展可能性に関する研究
		- 「共創型事業者」の役割に着目して-』
3	16:25-	<活動報告>
	16:45	飯田 誠一 日本経済大学非常勤講師/ロジネットジャパン
		テーマ『「ロジネットエクスプレス」
		- 観光プラットホーム型バス事業 - 』